

中国1 「文法」に関する問題①

年 組 番 氏名

一次の(1)～(5)で説明されている言葉の単位を漢字で答えなさい。

(1) 小説、論説、詩、談話などの全体のこと。

(2) 小説、論説、談話などを、内容上のまとまりごとに分けたもの。変わり目では改行し、最初の一字分をあげる。

(3) 一つのまとまった内容を表す一続きの言葉。「。」(句点)、「！」(感嘆符)、「？」(疑問符)などで最後を結ぶ。

(4) 意味を壊さず、不自然にならない程度に、できるだけ短句切ったひとまとまり。「ね」、「さ」、「よ」などを入れて句切ることができる。

(5) 言葉の最小単位でこれ以上は分けられない。辞書の語形。

二次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

五人の乗客は、傾く踏み段に気をつけて農婦の傍へ乗り始めた。猫背の馭者は、饅頭屋の簀の子の上で、綿のように脹らんでいる饅頭を腹掛けの中へ押し込むと馭者台の上にその背を曲げた。喇叭が鳴った。鞭が鳴った。眼の大きなかの一疋の蠅は馬の腰の余肉の匂いの中から飛び立った。そして、車体の屋根の上にとまり直ると、今さきに、漸く蜘蛛の網からその生命をとり戻した身体を休めて、馬車と一緒に揺られていった。馬車は炎天の下を走り通した。そうして並木をぬけ、長く続いた小豆畑の横を通り、亜麻畑と桑畑の間を揺れつつ森の中へ割り込むと、緑色の森は、漸く溜った馬の額の汗に映って逆さまに揺らめいた。(横光利一『蠅』より)

問 この文章はいくつの段落、いくつの文からできていますか。それぞれ数字で答えなさい。

段落

文

三 次の(1)～(5)の文はそれぞれいくつの文節に句切れますか。数字で答えなさい。

(1) 庭に赤いバラが五輪咲きました。

(2) 先生は朝から元気がよかった。

(3) これから妹の作った料理を食べてみる予定だ。

(4) 休み時間ぼくたちは体育館の裏でかぶと虫を見つけた。

(5) 彼は簡単には意見を取り下げません。

四 次の(1)～(5)の文は文節に句切つてあります。さらに単語に区切るといくつに区切れますか。数字で答えなさい。

(1) スポーツができる ロボットを作る。

(2) 台風で 草木が 折れたり 倒れたり する。

(3) ほら、 あそこに お店が 見えます。

(4) 僕は 頑張ったから、 試合に 勝った。

(5) やっと 今 宿題が 終わった ところです。

中国 1 「文法」に関する問題②

年 組 番 氏名

一次の(1)～(3)文の―線部の主語に対する述語を抜き出し、答えなさい。

(1) その 犬は 大きな 音に 少し 驚いた。

(2) 小学校時代の 友だちから 年賀状が 二通 届いた。

(3) これから 彼女が 作った 料理を ごちそうに なる。

二次の(1)～(3)文の―線部の述語に対する主語を抜き出し、答えなさい。

(1) 突然 西の 空が 明るく 光った。

(2) みんな 頑張ったが、 エースの 彼も 勝てなかった。

(3) この 資料では 東中が とにかく 強い。

二次の(1)～(3)文の―線部は、どのような関係にありますか。後の選択肢から選
び、記号で答えなさい。

(1) 筑波山の 頂上から 東京湾が はっきり 見えた。

(2) 時間に 遅れそうだったので、 家から 走って きた。

(3) 今日は とても 暑かったので、 行かなかった。

ア 主・述の関係

イ 修飾・被修飾の関係

ウ 接続の関係

エ 独立の関係

オ 並立の関係

カ 補助の関係

中国 1 「文法」に関する問題③

年 組 番 氏名

一次の(1)～(10)の説明に合う品詞を、後の□内から選び、漢字で答えなさい。
※『活用がある』活用する』『活用がない』活用しない』とも言います

- (1) 自立語で活用があり、言い切りの形がウ段で終わる品詞
- (2) 自立語で活用があり、言い切りの形が「い」で終わる品詞
- (3) 自立語で活用があり、
言い切りの形が「だ・です」で終わる品詞
- (4) 自立語で活用がなく、単独で主語になることができる品詞
- (5) 自立語で活用がなく、連体修飾語になる品詞
- (6) 自立語で活用がなく、主に連用修飾語になる品詞
- (7) 自立語で活用がなく、接続語になる品詞
- (8) 自立語で活用がなく、独立語になる品詞
- (9) 付属語で活用がある品詞
- (10) 付属語で活用がない品詞

名詞	動詞	形容詞	形容詞	形容動詞	副詞
連体詞	接続詞	感動詞	助詞	助動詞	

一 次の(1)～(5)で説明されている言葉の単位を漢字で答えなさい。

(1) 小説、論説、詩、談話などの全体のこと。

文章

(2) 小説、論説、談話などを、内容上のまとまりごとに分けたもの。変わり目では改行し、最初の一字分をあける。

段落

(3) 一つのまとまった内容を表す一続きの言葉。「。」(句点)、「!」「(感嘆符)」、「?」(疑問符)などで最後を結ぶ。

文

(4) 意味を壊さず、不自然にならない程度に、できるだけ短く句切ったひとまとまり。「ね」、「さ」、「よ」などを入れて句切ることができる。

文節

(5) 言葉の最小単位でこれ以上は分けられない。辞書の語形。

単語

二 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

五人の乗客は、傾く踏み段に気をつけて農婦の傍へ乗り始めた。猫背の馭者は、饅頭屋の簀の子の上で、綿のように脹らんでいる饅頭を腹掛けの中へ押し込むと馭者台の上にその背を曲げた。喇叭が鳴った。鞭が鳴った。眼の大きなかの一疋の蠅は馬の腰の余肉の匂いの中から飛び立った。そうして、車体の屋根の上にとまり直ると、今さきに、漸く蜘蛛の網からその生命をとり戻した身体を休めて、馬車と一緒に揺られていった。馬車は炎天の下を走り通した。そうして並木をぬけ、長く続いた小豆畑の横を通り、亜麻畑と桑畑の間を揺れつつ森の中へ割り込むと、緑色の森は、漸く溜った馬の額の汗に映って逆さまに揺らめいた。(横光利一『蠅』より)

問 この文章はいくつの段落、いくつの文からできていますか。それぞれ数字で答えなさい。

段落
4

文
8

三 次の(1)～(5)の文はそれぞれいくつの文節に句切れますか。数字で答えなさい。

(1) 庭に―赤い―バラが―五輪―咲きました。

5

(2) 先生は―朝から―元気が―よかった。

4

(3) これから―妹の―作った―料理を―食べて―みる―予定だ。

7

(4) 休み時間―ぼくたちは―体育館の―裏で―かぶと虫を―見つけた

6

(5) 彼は―簡単には―意見を―取り下げません。

4

四 次の(1)～(5)の文は文節に句切っております。さらに単語に区切るといくつに区切れますか。数字で答えなさい。

(1) スポーツ―ができる―ロボット―を作る。

6

(2) 台風―で―草木―が―折れ―たり―倒れ―たり―する。

9

(3) ほら、あそこ―に―お店―が見え―ます。

7

(4) 僕ら―は―頑張っ―た―から、試合―に―勝っ―た。

9

(5) やっと―今―宿題―が―終わっ―た―ところ―です。

8

一次の(1)～(3)文の―線部の主語に対する述語を抜き出し、答えなさい。

(1) その 犬は 大きな音に少し驚いた。

驚いた

(2) 小学校時代の友だちから 年賀状が 二通届いた。

届いた

(3) これから 彼女が 作った料理を、ごちそうになる。

作った

二次の(1)～(3)文の―線部の述語に対する主語を抜き出し、答えなさい。

(1) 突然 西の空が 明るく 光った。

空が

(2) みんな頑張ったが、エースの彼も 勝てなかった。

彼も

(3) この資料では 東中が とにかく 強い。

東中が

二次の(1)～(3)文の―線部は、どのような関係にありますか。後の選択肢から選び、記号で答えなさい。

(1) 筑波山の頂上から 東京湾が はっきり 見えた。

イ

(2) 時間に遅れそうだったので、家から 走って きた。

カ

(3) 今日はとても 暑かったので、行かなかった。

ウ

ア 主・述の関係

イ 修飾・被修飾の関係

ウ 接続の関係

エ 独立の関係

オ 並立の関係

カ 補助の関係

一次の(1)～(10)の説明に合う品詞を、後の□内から選び、漢字で答えなさい。
※『活用がある』活用する』『活用がない』活用しない』とも言います

- (1) 自立語で活用があり、言い切りの形がウ段で終わる品詞 **動詞**
- (2) 自立語で活用があり、言い切りの形が「い」で終わる品詞 **形容詞**
- (3) 自立語で活用があり、
言い切りの形が「だ・です」で終わる品詞 **形容動詞**
- (4) 自立語で活用がなく、単独で主語になることができる品詞 **名詞**
- (5) 自立語で活用がなく、連体修飾語になる品詞 **連体詞**
- (6) 自立語で活用がなく、主に連用修飾語になる品詞 **副詞**
- (7) 自立語で活用がなく、接続語になる品詞 **接続詞**
- (8) 自立語で活用がなく、独立語になる品詞 **感動詞**
- (9) 付属語で活用がある品詞 **助動詞**
- (10) 付属語で活用がない品詞 **助詞**

名詞 動詞 形容詞 形容動詞 副詞
連体詞 接続詞 感動詞 助詞 助動詞